

浮子ハ木片竹片其ノ他適宜ノモノヲ表流浮子トシテ使  
用シ其ノ流速ニ場所ニ依リ〇.80—0.75ノ係數ヲ乘シテ平均  
流速トシタリ其ノ結果ハ往々流速計ニ依ルモノニ比シ差  
アレト大體ニ於テハ良好ナリ

### 第二章 那珂川水系

#### 一、流域

(一)地形 那珂川水系ノ流域ハ福岡縣西部ヲ占メ大部分  
筑紫郡ニアリ尙一部佐賀縣神埼郡ニ跨リ形狀細長ク南北  
六里東西二里ニ亙リ面積八方里アリ  
流域ハ脊振山塊北斜面ノ東部ヲ占ム。流域ノ西南隅佐  
賀、福岡縣界ニ聳ユルモノハ主峰脊振山ニシテ高サ三、五〇  
〇尺許アリ其ノ東ニ蛤岳、七曲峠、石谷山、九千部山、權現山等  
高サ二、〇〇〇尺内外ノ山岳連レルハ脊振山塊ノ主脈ナリ  
此ノ主脈ノ北部斜面ハ南北ニ走レル河川ノ溪谷ニ依リ開  
截セラレ自ラ數條ノ連嶺ヲ作セリ其ノ脊振山ヨリ起リ北  
走シテ片繩山、鴻巣山ニ至ルモノハ流域ノ西境ヲナシ權現  
山ヨリ御笠川ト那珂川トノ間ヲ走ルモノハ流域ノ東境ヲ  
ナセリ從ツテ本川ノ流域ハ相向ヘルニツノ斜面ヨリ成ル

モノト謂フヘシ。流域ノ南部ナル主脈ニ屬スル諸山岳ハ  
稍急峻ナレト之ヨリ北方ニ出ツルモノハ低夷ニシテ丘陵  
性ヲ帶ヒ次第ニ低下シテ福岡平野ニ終レリ  
本川ノ兩岸ニハ中流部以下ニ於テハ少許ノ平地存スル  
コト多シ。而シテ下流部一帶ニ稍大ナル平野ノ展開セル  
モノハ福岡平野ナリ

(二)地質 本流域ノ山地ハ主トシテ花崗岩ヨリ成リ其  
北邊福岡平野ニ臨ム所ノ丘陵ハ三紀層及洪積層ヨリ成  
リ而シテ本流兩岸岩戸村ヨリ以下及福岡平野ハ沖積層  
リ成レリ

(三)林野狀態 本流域ノ山岳部ハ潤葉樹林及杉ノ植林等  
不規則ニ散在ス此ノ内流域ノ南邊一帶ノ部分ハ國有林ニ  
屬スレトモ他ハ概テ民有ナリ何レモ大樹少ク林況良好ナ  
ラス山岳部ノ河岸少許ノ平地及下流部ノ平野ニハ水田相  
連レリ

(四)氣象 南方山岳部ハ寒ク北方海岸部ニ至ルニ從ヒ次  
第ニ暖トナリ年平均氣温ハ南部ニ於テ一三乃至一四度北  
部ニ於テ一五乃至一六度ナリ。年雨量ハ南部ノ山岳部多  
ク二、〇〇〇耗内外海岸部少ク一、五〇〇耗許ナリ然レトモ

降雨日數ハ其ノ反對トナレリ。月雨量ハ六、七月最多ク九  
四月之ニ次キ十一月、十二月最少シ

二、河川ノ狀況 上流筑紫郡南畑村ニ於テハ川ハ急峻ナ  
ル山岳相迫レル間ヲ流下ス河幅二間乃至一〇間此ノ附近  
一帶花崗岩ヨリ成リ河岸ニハ岩盤露出スル所アレト多少  
風化シ樹木蘚苔類ニ掩ハルルコト多ク河床ハ岩盤露出ス  
ル所アレト砂礫轉石及大ナル岩塊散在スルコト多シ河川  
勾配ハ急峻ニシテ勾配一五分ノ一許ナリ殊ニ南畑村鈞垂

附近ハ筑紫耶馬溪ト稱シ河岸ニ奇岩峭立シ河床ニ巨石虎  
踞シ風景佳ナル所アリ此ノ附近殊ニ勾配急ナリ南畑村市  
之瀨附近以下ニ於テハ河ハ丘陵ニ挾マレタル平野ヲ流下  
ス河幅稍廣大トナリ河床ハ砂礫轉石ヨリ成リ勾配緩トナ  
ル  
本河川ノ流量ハ本省ニ於テ實測シタルコトナケレトモ  
九州水力電氣會社ニ於テ實測セル結果ハ左ノ如シ

(參考) 那珂川 流量表 (電氣事業者調査)

事業者	河川	測水所	流域面積	流量					流域一万里當流量				
				年次	最大	平均	低水	湯水	最小	最大	平均	低水	湯水
九州水力電氣株式會社	那珂川	福岡縣筑紫郡南畑村五ヶ山	一七〇	大正八年	三三三	三三五	一四〇	二二〇	三三三	三三三	一四四	八五	二二
				大正九年	三三〇	三三八	一七五	二六〇	三三四	三三四	一〇三	九四	
				大正十年	三七六	三七七	二二六	一〇一	三三三	一五九	六九	六〇	
				大正十一年	三三七	三四五	二四四	一〇一	三三三	一四四	八五		
				平均	三三七	三四五	二四四	一〇一	三三三	一四四	八五		

三、水利及治水 本河川ハ大正六年六月二十三日河川法

四、水力地點 本河川中發電ニ利用シ得ヘキハ南畑村堀

ノ準用ヲ認可セラレタリ。南畑村堀切附近以下ニ於テハ  
各所ニ用水水取入口及普通ノ水車アリ然レトモ之ヨリ上流  
部ニ於テハ水力發電所アル外水利事業ノ著シキモノナシ

切ヨリ上流ニシテ此ノ部分ニハ許可並既設發電所各一ア  
リ此ノ外ニ水力地點ヲ得ルノ餘地ナシ

那珂川水系許可地點一覽表

種別	百馬力—五百馬力		千馬力—五千馬力		合計	
	地點數	馬力數	地點數	馬力數	地點數	馬力數
發電開始	—	—	—	—	—	—
未開始	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—

### 第三章 遠賀川水系

#### 一、流域

(一)地形 遠賀川水系ノ流域ハ福岡縣ノ北部ヲ占メ嘉穂

田川、鞍手、遠賀ノ四郡ニ跨リ北方狹ク南方廣ク稍梯形ヲナ

シ東西七里南北一三里ニ互リ面積七一方里アリ

本流域ハ筑紫山脈ノ走ル所ニ當レトモ該山脈ハ一條ノ

山脈ヲナサスシテ多數ノ山脈山塊ニ分レタリ

流域ノ東部ニ當リ南北ニ走ルニノ山脈アリ北ナルヲ福

智山脈トイヒ南ナルヲ貫山脈トイヒ其ノ南端ハ流域ノ東

南隅ニ聳立スル英彦火山ニ達セリ。又流域ノ北西ニ當リ

北西ヨリ南東ニ走ル孔大寺山脈アリ更ニ其ノ西方ヲ南ニ

走リ東折シテ遂ニ英彦山ニ接シ流域ノ半ヲ包圍スルハ三

郡山脈ナリ貫山脈ト三郡山脈トノ中間ヲ南北ニ走ル關ノ

山山脈アリ是等ノ山脈ハ多數ノ支脈ヲ分チ尙河畔ニハ至ル所第三紀層ノ丘陵アリテ筑豊炭田其ノ間ニ存在ス

福智山脈ハ北方洞海湾附近ヨリ起リ南走シ流域ノ東邊

ナル尺岳福智山、牛斬山ヲ經金邊川岸ノ香春山ニ終レルモ

ノニシテ是等ノ山岳ハ高サ一、五〇〇尺乃至三、〇〇〇尺急

峻ニシテ其ノ遠賀川沿岸附近ニハ低キ岡阜ヲ繞ラセリ。

貫山脈ハ金邊川ノ東瀧ケ鼻障子ヶ岳飯岳ヨリ今川ト彦山

川トノ中間ナル連嶺ヲナシ南走シテ英彦山ニ接シ高サ一、

〇〇〇尺乃至二、〇〇〇尺ニシテ稍急峻ナリ。孔大寺山脈

ハ地ノ島附近ニ起リ本流域ニ於テハ連嶺ヲナサス猿田峠

六ヶ岳等一、〇〇〇尺許ノ低山ヲ起セリ。此ノ山脈遠賀川

ニ依リテ斷タレ其ノ南ニ現ハレ連嶺ヲナシテ嘉麻川ト中

元寺川トノ中間ヲ南走スルモノ即チ關ノ山山脈ニシテ北

部ハ低キ丘陵ヲナシ中部ニ於テ稍高ク金國山等ヲナシ更

ニ低クナリ遂ニ三郡山脈ニ接シ其ノ高サ一、五〇〇尺ヲ超

ユルモノナシ

三郡山脈ハ大島ヨリ起リ流域ノ西部ナル三坂峠、薦野峠

犬鳴山トナリ鉢立山ヨリハ北東ニ笠置山等ノ支脈ヲ出シ

テ犬鳴川ト遠賀川トノ流域ヲ分チ本脈ハ南走シ次第ニ高

サヲ増シ砥石山ヲ經テ主峯三郡山ニ至リ東折シテ大根地